



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち

メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

No.21
飛草焼(柳造窯)
有限会社飛草柳造窯

『伝承は衰退、伝統は革新の連続』
飛草柳造窯は、この言葉を家訓として代々新しい飛草焼を生み出してきました。

江戸時代に始まり、日用品から献上品まで幅広く愛された飛草焼。柳造窯は、陶器に加え磁器も扱い、豊かな発想のもと作品を生み出しています。先代の作風を踏襲することは許されず、代ごとに作風が変わるのも特徴です。

ほとんどの窯元が分業化や自動化に舵を切った高度経済成長期以降も、粘土や釉薬を自社製造し、手造りにこだわり続けてきました。「手間暇をかける、というよりも、効率がいいから」。そう話すのは兄の戸田柳平さん。イメージ通りに仕上げるには、素材を知り、その力を借りることが最も効率的なのだといいます。



▲七代飛草柳造さん(写真⑤)
戸田柳平さん(写真⑥)

伝統は革新の連続

—受け継がれるものづくりの精神—

「土、コー
ビー豆、
卵の殻：
何でも釉
薬にでき
ますよ」。
70種類に
ものぼる
釉薬は、
環境に配慮しながら作られ、作品に物語
性を与えています。
弟の七代飛草柳造さんは「製作に取り
掛かると、つい真面目に考えてしまいが
ち。でも、お客さんを喜ばせることだけ
に真面目であればいいと思っただけ
と話します。楽しいものを届けたい。この
心が七代目の創作の源になっています。
高山には様々な業種に優秀な職人が
たくさんいて、横のつながりも強い稀有
な土地柄だと2人は声を揃えます。地元
の伝統産業を盛り上げるべく、他業種と
手を携えながら挑戦を続けています。
今月開催する飛驒高山ものづくりオ
ンライン展示会も2人の企画。職人・地
域・小学校がつながるイベントです。ぜひ
ご参加ください。



▲七代作 陶製のスニーカー
日用品からアートまで、
作品の幅は多岐にわたる

～ものづくりから紐解く飛驒高山再発見プロジェクト～ 飛驒高山ものづくりオンライン展示会

“めぐるめぐらす”

「飛驒の匠の技・こころを伝える」のコンセプトのもと、市内の
つくり手たちの展示会をオンラインで開催します。スペシャルゲスト
によるトークイベントも予定しています。詳しくは下記 URL また
はQRから特設サイトをご覧ください。

期 間 ～ 11月30日(火)
出展者 まる工芸 / 牧野泰之 / 奥井木工舎
(株)木と暮らしの制作所 / 脇谷奨
TSUCHI NI KAERU / 極楽成土 / 山本忠介
ヒダシキ + きりん / amberance / 飛草柳造窯
新宮小学校 (特別参加)

U R L <https://megurumegurasu.studio.site>
問 合 せ ブランド戦略課 ☎ 35-3001

